TRANSFERRING METHOD FOR PATTERN

Publication number: JP2074399 **Publication date:**

1990-03-14

Inventor:

NAKAKOSHI KIYOSHI

Applicant:

NAKAKOSHI KIYOSHI; MAITANI TOSHITADA

Classification:

- international:

B44C1/00: A23G3/28: B44C1/00: A23G3/02: (IPC1-7):

A23G3/28: B44C1/00

- european:

Application number: JP19880227319 19880910 Priority number(s): JP19880227319 19880910

Report a data error here

Abstract of JP2074399

PURPOSE:To simply and satisfactorily transfer inexpensively and beautifully by placing a thin film formed of polysaccharides, proteins with patterns such as characters, graphics on the surface of a decorative material, and dissolving the film with water or the like or decomposing or burning it with oxygen or the like. CONSTITUTION:In order to form patterns such as characters, graphics on a thin film formed in a thin film state of polysaccharides such as starch, glycogen, cellulose, etc. or proteins such as albumin, hemoglobin, etc., the patterns are manually described by a writing brush, or a pen. pressed by an uneven plate to be stamped or sealed, or further applied by printing technique. In this case, as a describing material, printing ink is employed. If a decorative material to be formed is of processed food, edible ink is used. Then, the pattern of a thin film is placed with front or rear side upside on the surface of the material, and the latter has higher density of transferring pattern. Thereafter, in order to dissolve the thin film, it is ordinarily dipped in normal water, warm water or hot water, or dissolved by a steam operating unit. In order to decompose it, the film may be immersed with enzyme solution such as amylase, etc. Further, the film may be burned to bake the pattern.

Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

◎ 公開特許公報(A) 平2-74399

SInt. Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

33公開 平成2年(1990)3月14日

B 44 C 1/00 A 23 G 3/28 2119-3B 8114-4B

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全2頁)

劉発明の名称 模様の転写方法

②特 頭 昭63-227319

②出 願 昭63(1988) 9月10日

 ⑩発明者 中越 喜与嗣

 ⑪出願人 中越 喜与嗣

石川県金沢市畝田東2丁目218番地石川県金沢市畝田東2丁目218番地

の出 願 人 舞 谷 俊 忠 石川県金沢市安江町3番13号

明 細 . 書

- 1. 発明の名称 模様の転写方法
- 2. 特許請求の範囲

文字、図形等の模様を施した多糖類、蛋白質等を加工した薄膜物を、被加飾物表面に截置し、 この薄膜物を水等で溶解又は酵素等で分解又は燃焼させて、模様部を被加飾物表面に密着させることを特徴とする、模様の転写方法。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、加工食品、ブラスチック、金属、木材等の表面に、文字、図形等の模様を密着させる 転写方法に関するものである。

(従来の技術)

従来、加工食品表面の加飾が際立つ生菓子、 辞等に於て、その表面模様を施す技術は、製造職 人の長年に亘る技能の練磨を要し且つ低い作業効 率となっていた。

またプラスチック、金属、木材等の表面へ文字

、図形等の模様を加飾するには、公知の印刷方法等によって施されているが、複雑な工程、高価な設備、卓越した技能等を要するという問題点を有していた。

(発明の目的)

(発明の構成)

本発明は、文字、図形等の模様を施した多糖類、蛋白質等を加工した薄膜物を、被加飾物表面に 報置し、この薄膜物を水等で溶解又は酵素等で分解又は燃焼させて、模様部を被加飾物表面に密着 させる、模様の転写方法である。 以下本発明を具体的に説明する。

先ず多糖類を加工した薄膜物とは、デンブン、 グリコーゲン、セルロース等の多糖類を薄膜状に 加工したものであり、蛋白質を加工した薄膜物と は、アルブミン、ヘモグロビン等の蛋白質を薄膜 状に加工したものである。

本発明に於て上述の薄膜物のうち、主として利用するものは多糖類のデンプンを加工したオブラートである。

とのオブラートは本発明が求める薄膜物の性質を備えており、更には安価で透明性に優れている 利点があり、キャンディ、ガム、薬等の包装フィルムとして広く利用されている。

次は文字、図形等の模様を薄膜物に施す方法としては、筆、ペン等で手描する方法、凹凸のある版を加圧するスタンプ方法あるいは押印方法、更には公知の印刷技術を応用する方法等がある。

この際、模様を薄膜物を施す描画材料としては 印刷インクを用いるが、被加飾物が加工食品の場 合は可食用インクを使うことは当然である。

薄膜物はその代表であるオブラートを用い、 被 加飾物は生菓子のうち、 最も 親しまれている無地 で半球状の蒸し万頭を題材とした。

先ず所望の模様のスタンプ器を、可食用インクがあく平らとなっている面状に軽くつけた後でのスタンプ器を薄膜物のオブラートに押す。 これによりスタンプ器の模様の面を丸味のある 蒸し 万頭を水 蒸回に 載置し、その蒸し 万頭を水 蒸気操作 装置で約100℃となる蒸気状態で約1分間据え置く。

てれにてオブラートは溶解し所望の模様は丸味 のある面状の蒸し万頭表面に美しく転写される。 (発明の効果)

以上により、本発明が適合する加工食品、ブラスチック、金属、木材等の表面には簡単にして低コスト、美麗にして良好な転写加工を行なうことが出来、その被加飾物は当品の価値性を高揚し需要の拡大に寄与する実用的効果をもつものとなる

特許出願人 中越 喜 与 嗣 (外1名)

又上記の手描方法時には油性フェルトペンを使 うこともある。

次の工程としては、模様を施した薄膜物を被加筋物表面に載置しなければならない。

この時、被加飾物表面に薄膜物の模様部面を表向きにする方法と要向きにする方法があるが、後者の方が次の工程結果である転写模様の密着度は 高い。

次は下記の方法により模様を施し被加飾物に成置した薄膜物を溶解又は分解又は燃焼させて除去すると共に模様部を被加飾物表面に密着させる。

溶解させる方法としては通常の水、温水、熱水 で薄膜物を受す方法、又は水蒸気操作装置で被加 節物に載置した薄膜物を溶かす方法等がある。

分解させる方法としては、アミラーゼ等の酵素 溶液で薄膜物を受す方法がある。

燃焼させる方法とは薄膜物を燃やすことにより 模様部を焼き付ける方法である。

以上により本発明の工程は終える。

次に本発明の構成を実験例によって説明する。